

事務事業	655801	防犯推進事業		
事業区分	実施計画事業	施策体系	655810 地域防犯活動の推進	
区分	必要性	高い	効率性	低い
	方向性（第一次）	改善・効率化	改善、効率化の内容	改善戦略
対象	市民			

事務事業目的	街頭犯罪や振り込め詐欺、不審者による子どもへの声かけ事案等、多様化する犯罪の発生防止を図ります。
事務事業内容	狭山警察署をはじめ、地域防犯推進委員や防犯関係団体との連携を図り、地域防犯パトロールや駅頭などでの広報・啓発活動を実施します。
実施形態	直営
成果指標	設定なし 令和元年度実績：
活動指標	（活動指標1）青色回転灯装着車両による防犯パトロールの年間実施回数 令和元年度実績： 111回

**事業コスト計算**

事務事業費予算額	51,244,000 円	R1 事務分担表による「事務に係る人数」	0.82 人
事務事業費決算額	53,250,359 円	R2 事務分担表による「事務に係る人数」	0.70 人
<b>予定値</b>		<b>確定値</b>	
直接事業費	51,244,000 円	直接事業費	53,250,359 円
人件費	6,758,771 円	人件費	5,660,483 円
総額	58,002,771 円	総額	58,910,842 円

見直し実績	各種媒体をより積極的に活用し、幅広い年代に防犯に関する情報提供を行った	
事業評価	内部要因 外部要因	（ニーズ）多様化、巧妙化する犯罪手口に対する啓発や相談の役割が増大している （強み）広報紙やホームページ、Facebook、TwitterなどSNSを効果的に活用した情報提供ができる仕組みが整っている
	必要性	安心・安全なまちづくりを進める上で、多様化、巧妙化する犯罪手口に対する啓発や相談のニーズが増大していることから、行政が果たす役割は大きい
	効率性	各種媒体を効果的に活用した情報提供ができる仕組みが整っていることに関しては、強みである ただし、関係団体と連携しながら啓発活動などを行っているが、事業内容の硬直化や参加役員の負担が大きくなるなどの課題がある
	方向性	犯罪の手口が巧妙化し、高齢者が被害にあうケースが増えていることから、関係団体と連携しながら防犯活動や啓発活動を行うとともに、各種媒体を効果的に活用した情報提供を継続していく

事務事業	655806	防犯設備整備事業		
事業区分	実施計画事業	施策体系	655820 防犯設備の充実	
区分	必要性	高い	効率性	低い
	方向性（第一次）	改善・効率化	改善、効率化の内容	改善戦略
対象	市内全域			

事務事業目的	防犯灯を整備充実させることにより、夜間における歩行者の安全を確保し、街頭犯罪を抑止することを目指します。
事務事業内容	自治会からの要望により、防犯上必要と判断される箇所に防犯灯を新設します。
実施形態	直営
成果指標	設定なし 令和元年度実績：
活動指標	（活動指標1）新規防犯灯設置整備数 令和元年度実績： 29基

**事業コスト計算**

事務事業費予算額	3,013,000 円	R1 事務分担表による「事務に係る人数」	0.20 人
事務事業費決算額	1,175,350 円	R2 事務分担表による「事務に係る人数」	0.26 人
<b>予定値</b>		<b>確定値</b>	
直接事業費	3,013,000 円	直接事業費	1,175,350 円
人件費	1,648,481 円	人件費	2,102,465 円
総額	4,661,481 円	総額	3,277,815 円

見直し実績		
事業評価	内部要因 外部要因	（ニーズ）多様化、巧妙化する犯罪手口に対する啓発や相談の役割が増大している （強み）防犯灯のLED化を計画的に進めている
	必要性	安心・安全なまちづくりを進めるうえで、防犯設備の整備に関するニーズは大きく、必要性は高い
	効率性	修繕が必要な防犯施設に関する市民等からの情報を集約することができる点については効率性は高い ただし、更新、修繕等の必要性の見極めや優先順位付けのためには現地調査などの人的負担が必要であり、その判断も非常に難しいことから、効率的な調査方法の検討と基準等の策定が必要である
	方向性	更新、修繕等の必要性、緊急性に関する基準等を策定するとともに、効率的な現地調査に関する手法を検討する